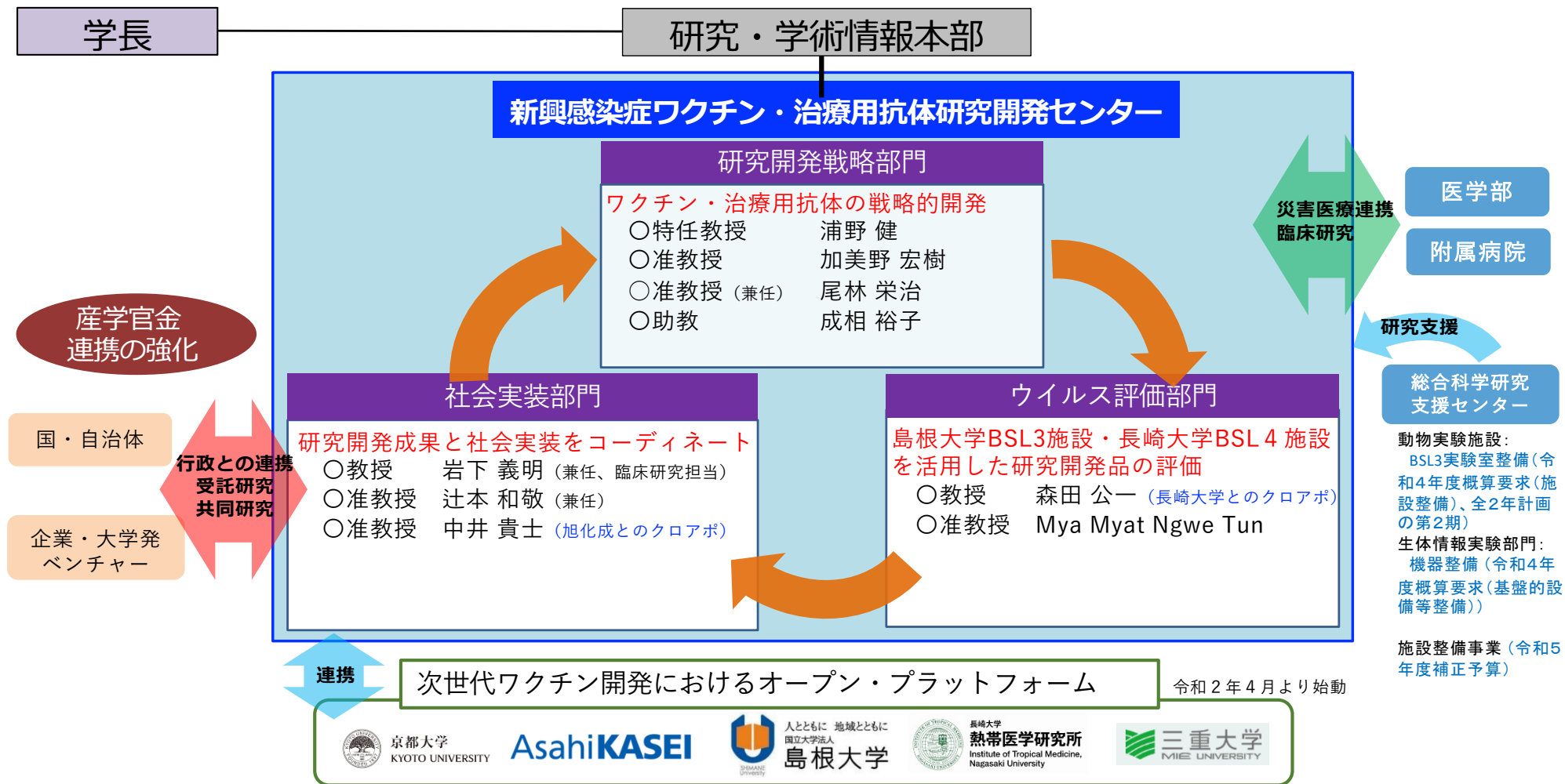


新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター

【センターの目的】

予測不能な新興感染症の勃発に対して、コールドチェーンを必要とせず、小児にも安心して使用できるデリバリー基材の異なる次世代ワクチン、そして治療用抗体の国内での迅速な研究開発・評価・社会実装を可能とする体制とネットワークを戦略的に構築する。



国立大学の機能強化を推進するための教育研究組織改革の例（令和4年度新規分）

・先導的・意欲的な教育研究組織の整備により、ミッション実現を加速するための活動基盤を重点的に支援し、国立大学の活動展開を強力に推進することを通じて、社会変革や地域の課題解決を主導し、その成果は広く社会にも還元

＜＜感染症研究＞＞ 新型コロナウイルス等の新興感染症に対応した、次世代ヘルスケアの推進に資する高度人材の養成や、ワクチン・新薬開発・国際連携・診療拠点の構築により、ポスト・コロナ社会における社会変革に寄与し、その中核として機能

島根大学

新興感染症ワクチン・
治療用抗体研究開発センター

経済活動維持や安全保障等の観点からも急務である、新興感染症に対する国産のワクチン・治療薬開発に向けて、「新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター」を創設。学長直轄のガバナンスの下で、企業との密接な連携により、ペプチド・ポリペプチドを基盤とした安全性を重視した次世代ワクチン開発や、大学が培ってきた抗体開発技術を用いた治療用抗体の開発を目指した特色ある新興感染症研究開発拠点を形成。

大阪大学

感染症総合教育研究拠点

千葉大学

災害治療学研究所

長崎大学

プラネタリーヘルス学環

東京医科歯科大学

グローバル感染症征圧
プラットフォーム

東京大学

医科学研究所
国際ワクチンデザインセンター

